



『瑜祇塔』から望む日和佐の街並み

ている人が多かった。) またお寺の境内とはいえ、普段お金を置く場所でない道の階段に大切なはずのお金を半ば捨てていることが非日常の行為であり非倫理的体験にて快感であったのかも知れない。とにかく身銭を切ったというよりは儀式をやり終えたという気持ちよさが残った。そして本殿前の庭に出て振り返ると、階段側にすばらしい景観が眼前に広がった。高台の眺望が良く、左手には山に奥には海、手前には日和佐の市街や駅が、左手にも大きな山が広がり、中腹にはお城の跡が見える。また薬王寺前の国道は、参拝の為駐車場に入る為の渋滞が続いている。厄除けの儀式を無事に終えた為か、また高台の絶景を眺め気持ちの良い風が迎えてくれた為なのか本当に清々しい気分になった。

さて、本殿にてお参りした後、おみくじを引く。なんと大吉であった。何だかこれだけでここまで来た甲斐があり、また今年の1年はきつとうまくいくのだろうと思えた。その後奥の塔へ向かう。本殿より高い位置にある為先程よりもいっそう眺望がいい。塔の台座を見ると東西南北に亀が鎮座していて、台座を支えていた。流石ウミガメの産卵場所として有名な日和佐の地にあるお寺であり、亀はこの地の守り神ならぬ守り仏といったところなのだろう。その亀の鼻先にも多

くの1円玉が備えられていた。恐らく皆様、厄除け参拝で余った1円玉を置いていたのである。

これで、今年の厄除けを終わりにしても良かったのだが、何かしつくりとない。身銭をあまりきっていないと気付いた。お費銭と1円玉、またおみくじとお守りをゆずってもらっても千円強。もちろんこれまでの交通費、宿泊費などはあるのだが、お寺に対して「本厄を乗り切る為」これで良いのか? という自問自答である。結果、厄除けのお祓いを受けようとして社務所へ戻る。(今考えると本来の趣旨とははずれいともいってしまうのである。)

薬王寺さんでは実際に護摩を焚くような祈祷に当日申込者が参加するのではなく、一切をお寺にお任せ後日祈祷するものであった。お布施料が参千円、五千円、壹萬円、貳萬円...と続く。何が違うのかというとお祈りをしてくれる日数の違いであった。参千円は翌日のみ祈祷、五千円は翌日より3日間、壹萬円は翌日より1ヶ月間、貳萬円は6ヶ月間、という具合で祈祷をしてもらえるという。ただ、本日に祈祷が行われているかを申込者が確認するはずはないのだが、「五千円で3日、壹萬円なら本来6日のはずも5倍の30日も祈ってくれるのか。」この絶妙なお布施の仕組みにかなり商業主義の匂いを感じるも、『本厄除け』として出せる精一杯の金額として『壹萬円』を奮発し、お札などの記念品を受け取る。

「ここまですれば今年は大丈夫だろう。」と安堵しつつ最後に、昼時ということもあり、社寺を下った駐車場までの道すがらにある食堂に入り、名物らしき『厄除けうどん』を食べることにした。勿論参拝を終えた人達でござって返している。連れもない身であり、待ち時間もあるだろうと少々気が引けたが、せっかく来たのだし四国の名物うどんである。『うまいに違いない』との思いで店に入ってしまった。これが、全てをひっくり返す元凶となるのはつゆとも思わずに...

(次回へ続く)

# 回復期リハビリテーション病棟のお花見会

医療法人啓仁会  
所沢ロイヤル病院 リハビリ科(埼玉県所沢市)  
言語聴覚士 笠川 未来羽

回復期リハビリテーション病棟では、「お花見会」を企画して、飯能の阿須公園に行きました。今回は患者様17名、スタッフ29名の総勢46名が参加しました。

前日の悪天候とは違って変わり、風が気持ちの良い曇り空とつない素晴らしい天気になりました。朝、患者様は早くに準備が終わり、さわさわと抑えきれず、「出発まではまだまだ時間ありますよ!」なんてお伝えした方もいらっしゃいました。10時半頃、車椅子などたくさん荷物も乗せていよいよ病院を出発です!!阿須公園までのドライブ中は桜並木が多くきれいな景色でした。バスの中では、楽しいお花見会と患者様同士のおしゃべりが弾んでいました。

公園に到着し、患者様とスタッフで散策開始です。桜は見ごろをちょうど迎えているようでした。歩ける方、車椅子の方と様々な患者様がありましたが患者様お一人にスタッフ一人が付き添い各々のペースで公園内を回りました。駐車場には自動車が思っていた以上に停まっており混雑しているのかと心配しましたが、

人はそれほど多くなく、ゆっくりと回る事が出来ました。ご自分の携帯電話で写真を撮っている方、「お父さんに見せなくちゃ」とお花を持って帰る方、「お昼ご飯はまだかな」とそれぞれが楽しまれました。

そして、待ちに待った昼食の時間です! 風呂敷を解くとなんと美味しそうな豪華なお弁当です。栄養科の皆さんが準備して下さったお弁当を満開の桜を見ながら頂きました。ノンアルコールビールで乾杯する方、青空の下芝生の上でお弁当を広げる方、美味しく食べてもより食べ過ぎてしまう方もありました。スタッフの分も少しあり患者様と美味しさを共有することができました。

今回は、初めて外出の行事に参加しました。病院内で見ているとは違う患者様の笑顔を見る事ができ、満面の笑みを一緒に交わす事が出来ました。また、リハビリスタッフとして、院内では見ることのない一面にも気がつく事が出来ました。そして普段はあまり自分からお話して下さらない患者様からも「桜の下でこんなに美味しいご飯も食べて最高だ!」という声を聞きました。参加した患者様から翌日に「疲れたけど昨日くらい歩けるようになった」とモチベーションが伸びてきた事に驚きました。



お弁当もおいしく召し上がりました



職員もいただきました

一緒に参加した新入職員からは、「外出は普段と違う特別行事で、気分転換となる良い機会だと感じた!」



平田医師と山崎医師



散歩を楽しみました



みんなで記念撮影

「わからないことも多く迷惑にならないか緊張していたが、患者様と一緒に楽しむ事ができた」といった感想が聞かれました。

患者様・スタッフともに、お花見は事故なく楽しく過ごせる事が出来ました。また、今後もこのような企画をとあして、いろいろな患者様と関わっていききたいと思えます。

# 張り子の『いなりん』作る

医療法人啓仁会  
介護老人保健施設  
たんぼぼ(愛知県豊川市)  
事務課長 尾上 貴志

老健たんぼぼデイケアの利用者様たちが力を合わせ、豊川いなり寿司のイメージキャラクター『いなりん』の等身大張り子を完成させました。この力作になんと本物の『いなりん』も駆け付けてくれました。

たんぼぼデイケアでは、リハビリテーションの一環として16のクラブが活動をしており、その中の一つ「張り子クラブ」では例年干支をモチーフにした張り子を制作しています。今年度は豊川市制70周年ということで、B-1グランプリ招致などの盛り上がりにも刺激を受け、デイケアの介護職員 天野 めぐ美さんが発案



いなりん作製の中心メンバーの皆様



サプライズで本物の「いなりん」の登場に託児所の子供たちも大喜び



張り子のいなりん(左)と本物のいなりん(右)

「張り子クラブ」の利用者様を中心メンバーとして13名の利用者様が主に携わり、塗り絵や工作などそれぞれの得意分野を生かして分担作業で取り組みました。昨年9月から製作に取り掛かり、およそ半年かけて大作が完成しました。

# チョコフォンデュ

医療法人啓仁会  
介護老人保健施設

所沢ロイヤルの丘 埼玉県所沢市  
介護職員 苗木 咲美

所沢ロイヤルの丘では、月に一度フロア行事としてチョコフォンデュを行っています。主な材料として板チョコを細かく刻んだもの、フルーツはいちご、バナナ、パイナップルを準備します。

毎回フルーツだけでは面白くないので、今回は菓子パン、食パン、ビスケット、ドーナツ、甘栗、せんべい、ポテトチップスと遊び心でいろいろ食材にチャレンジしてみました。すると、意外や意外、ご利用者様からは「美味しかった」「楽しかった」の喜びのお言葉をいただきました。なかでも私のおすすめは、ポテトチップ



包丁気をつけないと



おいしいよ

プスで甘さと塩気のバランスが絶妙とても美味しかったです。(市販でも発売しているのですが...) 今後季節にあつたいろいろな行事を行こうと思っております。

# B-1グランプリ開催

医療法人啓仁会  
介護老人保健施設  
たんぼぼ(愛知県豊川市)  
小野 彰子 & 小林 香菜

私たちの施設がある豊川市は昨年市制施行70周年を迎えました。それに伴い市では様々な記念事業が開催されました。その中の一つとして、「ご当地グルメでまちおこし」を掲げるB-1グランプリの開催は、まさにこの記念すべき年にぴったりのイベントでした。

開催2日間は全国各地から約58万人の来場者が訪れました。市内は臨時のシャトルバスが運行し、普段あまり利用客のない私鉄も大混雑だったようです。私たちは2日目に参加しました。午前中はあいにくの雨模様で、シャトルバスに乗り

ましたが大変混雑していて会場も入場規制が敷かれていました。午後からは雨もあがり、人気のブースは売り切れのお店も出ていました。会場内のお店は全てクーポン券で購入するシステムになっていましたが、地元の商店街でもこのクーポン券が使用できるため、近くの商店街もお客さんがたくさん入っていました。

無事イベントは進行し最後にグランプリの発表がされました。投票は割り箸の重さで競い、結果、福島県双葉郡浪江町の「浪江焼きそば」がゴールドグランプリに輝きました。私たちが食べましたが、



JR豊川駅前も普段より混雑していました



新潟県南魚沼市のゆるキャラ「こめつく君」。ご当地ゆるキャラたちは各ブースでPRしていました。



岐阜県郡上市、奥美濃のゆるキャラ「Cちゃん」



左から長野県大村市あま辛カレー、青森県八戸市せんべい汁、宮城県登米市とよま蕎麦。



シルバーグランプリに輝いた青森県の十和田バラ焼き。甘辛の味付けでご飯とよく合います。

# 新年度のごあいさつ

社会福祉法人栄光会  
所沢市保健センター

老人デイサービスセンター(埼玉県所沢市)  
センター長兼生活相談員 清水 有

日頃皆様には保健センターデイサービスセンターをご利用いただき誠にありがとうございます。とごさいます。昨年の4月に前任の石井センター長の後を受け保健センターデイサービスセンターのセンター長に就任し早や一年が経ちました。センター長と生活相談員を兼務することにより皆様にはご迷惑をおかけしました。

今年度は昨年の経験を踏まえ皆様にご満足いただける家庭的なサービスを目指してまいります。さて昨年度もご利用者の皆様に喜んでいただけるよう、季節のイベント、ボラ

ンティアによる舞踊、演奏会、書道など日々の活動を職員一同業務に取り組みでまいりました。お陰さまで事故や感染症の流行もなくこの一年を送ることができました。

所沢市保健センター内の営業が今年度最後となります。これまで同様に無事な一年が送れるよう職員一同で願っております。平成27年度に新しい施設へ移転しましても職員体制・サービス内容には変更なく営業を継続させていただく予定です。現在ご利用されている皆様にはこれまで

以上に満足していただけたら幸いです。今年度も引き続き保健センターデイサービスセンターをよりよくお願い申し上げます。



今年度行われた合同創作品展にて(所沢西郵便局)